

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターばれっとクラブあしかが		
○保護者評価実施期間	令和7年 7月 22日		～ 令和7年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45人	(回答者数) 30人
○従業者評価実施期間	令和7年 7月 22日		～ 令和7年 8月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・十分な活動スペースを設け、トランポリンやホーススイングなど身体を動かす遊具を設置している。	・こどもの特性、興味を配慮しその児にあった個室を用意したり、保育室は動きやすく使いやすいよう安全面を重視している。	・衛生面、安全性を強化するため日々の清掃や遊具の点検を実施していく。
2	・児童発達支援計画に沿った支援を行っている。	・より良い支援ができるようにケース会議、策定会議を行う。	・職員が共通理解を図り、一貫性を持った療育を行う。
3	・小集団指導(年中児、年長児)、個別指導の充実に。	・個々の特性を配慮し、対応している。	・こどもたちが、楽しみに通所できるように課題を検討している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害時の対応について、周知されていない。	・非常災害時マニュアルが保育室掲示板に掲示してあるが、見る人が少ないようだ。 ・避難訓練を年中、年長児のグループ指導で行うため認知度が低い。	・保育室掲示板にマニュアルが掲示してあることを伝え、見ていただく。 ・グループ指導で避難訓練を実施する事を事前に知らせたり、実施した後に画像などで知らせていく。
2	・保護者会の活動がない。	・年に3～4日回のイベントを開催し、保護者同士の交流を図れたらと考えているが、仕事の都合で参加できない保護者も見られる。	・イベントなど多くの方に参加していただけるよう、日時・内容を検討する。 ・保護者研修会では、フリートークや井戸端会議など気軽に参加できるよう工夫したい。
3	・ホームページの認知度が低い。	・ホームページについて、利用者に周知されていない。	・年に2回の会報誌以外にも、定期的に発信し、ホームページ更新についても口頭や掲示などで周知していきたい。